

芹沢高志・港千尋 著

2016年12月上旬配本予定
定価：2,000円+税

『言葉の宇宙船—わたしたちの本のつくり方』

国際芸術祭のディレクターを務めるふたり、

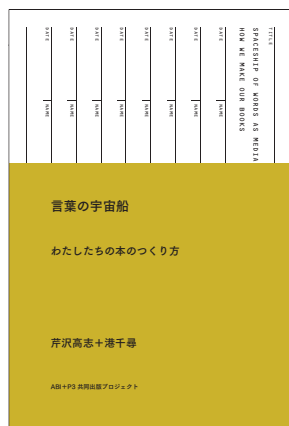
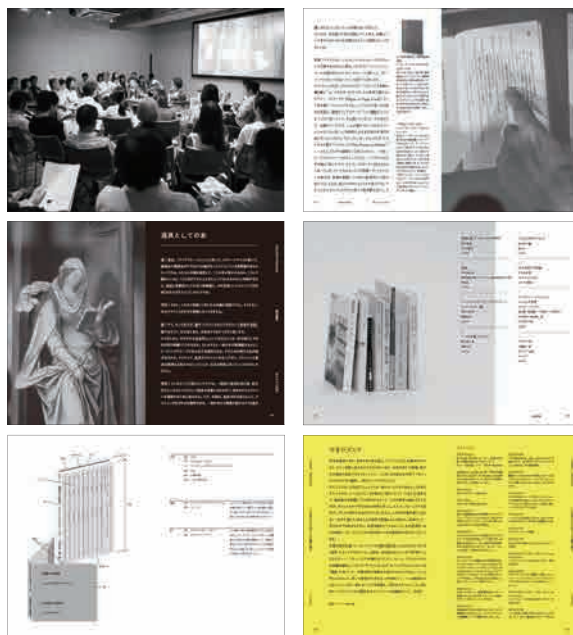
芹沢高志と港千尋が中心となり、新たな出版レーベルを立ち上げた。

本と出版の未来について動きながら考える「ABI + P3 共同出版プロジェクト」。

その第一弾、レーベルの哲学と現場の熱気を一冊に綴じた「プロジェクトブック」が遂に完成!!

2016年春、港から芹沢のもとに一通の手紙が届きます
—「どうでしょう。いっしょに宇宙船をつくるのは」。

本書は、この一通の手紙から出版レーベルが立ち上がるまでのプロセスを一冊にまとめたものです。収録するのは「本の可能性」と「未来の発信拠点」をめぐる交わされた往復書簡や公開対話の記録。読者への届け方まで話題の広がった編集会議の様態。予約注文制などにチャレンジした本づくりの実践をふりかえるキーワードエッセイ。芹沢高志と港千尋が書き下ろした、本の物質性や道具性、本の外縁に注目したブックエッセイ。美しい書影と共に紹介する50を超える参考図書たち。世代も経験も異なるメンバーが動きながら考え、対話を重ねることによって生まれた「わたしたちの本のつくり方」を、熱気そのままに多角的に紹介する一冊。さまざまなマテリアルを一冊に具現化した尾中俊介の造本設計も必見!



【表紙】

【目次】

- ・往復書簡 港>芹沢 / 芹沢>港
- ・対談 印刷物と思想の共有をめぐる
- ・対談 こんな本を読んできた
- ・対談 小さな発信基地をつくろう
- ・編集会議
- ・キーワード エッセイ集 「一通の手紙から一冊の本ができるまで」
- ・エッセイ 「外縁の前で」 港千尋
- ・エッセイ 芹沢高志
- ・参考図書 * 書影付

定価：2,000円+税 / 判型：四六判（帯付） / 192頁
ブックデザイン：尾中俊介（Calamari Inc.） / ISBN978-4-904965-07-8 C0070

・芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター）：1989年に東京・四谷の東長寺地下講堂にP3を開設し国内外でアート、環境関係のプロジェクトを様々に展開。さいたまトリエンナーレ2016ディレクター等。訳書にバックミンスター・フラー『宇宙船地球号操縦マニュアル』（ちくま学芸文庫）等。
・港千尋（Art Bridge Institute 代表理事）：写真家・著述家。群衆や記憶など文明論的なテーマを持ちつつ、研究、作品制作、展覧会、出版、キュレーション等、幅広い活動を続けている。著作に『記憶 想像と想起の力』（講談社）等多数。ヴェネツィアビエンナーレ国際美術展日本館コミッショナー（07年）、あいちトリエンナーレ2016芸術監督。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail:info@tsubamebook.com
TEL:03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名（番線印）	新刊	P3 art and environment（発行：ABI+P3 共同出版プロジェクト） http://p3.org E-mail: joho@p3.org / 返品条件付注文扱い / 返品了解 / ツバメ出版流通：川人
	注文数	芹沢高志・港千尋 著 『言葉の宇宙船—わたしたちの本のつくり方』 本体：2,000円+税 ISBN978-4-904965-07-8 C0070
ご担当：	様	